

1. 略歴

- 1985年7月 北京大学中国語言文学系古典文献専攻卒業
1988年7月 北京大学中国語言文学系古典文献専攻修士課程修了
1988年7月 北京大学中国語言文学系・古文献研究所助手
1990年8月 北京大学中国語言文学系・古文献研究所専任講師（～1995年3月）
1994年2月 慶應義塾大学附属研究所斯道文庫訪問研究員（～1995年1月）
1994年8月 東京大学東洋文化研究所外国人研究員（～1995年3月）
1998年3月 東京大学大学院人文社会系研究科アジア文化研究専攻（東アジア思想文化専門分野）
博士課程単位取得退学
1998年4月 文部省学術振興会特別研究員 PD
1999年4月 日本女子大学人間社会学部文化学科専任講師（～2003年3月）
2001年4月 東京大学大学院人文社会系研究科博士（文学）学位取得
2003年4月 日本女子大学人間社会学部文化学科助教授
2004年4月 国文学研究資料館研究部助教授
2007年4月 国文学研究資料館研究部准教授
2013年4月 国文学研究資料館研究部教授
2017年4月 東京大学大学院人文社会系研究科 教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

中国書籍史 東アジアの書籍交流史 日中文化交流史

b 研究課題

1. 明清時代の中国地方の商業出版について
2. 江戸時代の詩経学と博物学
3. 江戸～明治時代の日中学術交流

c 概要と自己評価

東アジアの文化交流を視野に入れながら、日本と中国の書籍文化と学術交流史を研究している。本期間では引き続き江戸時代の中国文化の受容と多元文化を中心に研究を進め、詩経学と博物学との関係に注目し、『毛詩品物図考』をはじめとする江戸時代の一連の『詩経』における植物・動物・昆虫の名物解釈についての書籍を調査研究し、これらの研究によって、江戸時代における中国文化の受容の特徴について分析を行った。

d 主要業績

(1) 著書

陳捷、『医学・科学・博物——東アジア古典籍の世界』、編著、東京：勉誠出版、2020.2

(2) 論文

陳捷、「接受・融合・創新：從『毛詩品物図考』看十八世紀日本『詩経』名物学研究的特色」、『中国典籍与文化』2018年第4期（総第107期）、pp.139-149、p112、2018.10（加筆したものは顧永新編『経学文献学研究』〈pp.231-246、北京大学出版社、2019.10〉に収録されている。）

陳捷、「経学註釈と博物学の間——江戸時代の『詩経』名物学について」、陳捷編『医学・科学・博物——東アジア古典籍の世界』、pp.245-264、東京：勉誠出版、2020.2

(3) 学会発表

国際、陳捷、「清末銅版印刷與日本」、第10回東アジア文化交渉学会第25「近代東アジア文化交渉中的応用類出版物」、香港城市大学、2018.5.12-13

陳捷、「経書註釈と博物学の間——江戸時代の『詩経図』について」、「九州大学国際シンポジウム」、九州大学、2018.9.21

国際、陳捷、「経書註釈と博物学之間：關於江戸時代『詩経』名物学研究」、「第二屆儒家經典的跨域伝承国際學術研討會——中心与辺縁的文化受容及伝承」主題講演、香港浸会大学善衡キャンパス邵逸夫大樓九階RRS905會議室、2018.10.25

国際、陳捷、「日本江戸時代対古代書籍訂形式和装具的研究——從藤貞幹『好日小録』談起」、中国・上海図書館、「芸術としての書籍」国際シンポジウム、2018.11.1-2

国際、陳捷、「從岸田吟香看十九世紀七八十年代中日民間往来」、南京フォーラム、南京大学、分論壇三「人的移動的流轉：亞太歴史・現状・未来」、2018.11.17-18

国際、陳捷、「關於阮輝傑漢詩『餞日本使回程』的积読」、「河静省干禄県阮輝家族 17-20 世紀漢喃遺産価値研究」国際研討会、ベトナム・Hà Tĩnh（河静）、2019.5.9-10

国際、陳捷、「乾隆・嘉慶期における叢書の編纂と出版についての考察」、「第64回国際東方学会議」、東京、日本教育会館、2019.5.18

国際、陳捷、「江戸博物学与詩経名物学研究浅談」、「中、日『詩経』学之比較研究」學術研討会、台湾中央研究院文哲所二階會議室、2019.8.24

国際、陳捷、「關於乾嘉時期叢書編纂与刊刻的考察」、「中研院明清研究国際學術研討会」、台湾中央研究院近代史研究所、2019.8.28-30

(4) 研究テーマ

文部科学省科学研究費補助金、基盤研究C、陳捷、研究代表者、「明清時代における濬湾（江西金溪）の出版業に関する総合的研究」、2017.4～2019.3

3. 主な社会活動

(1) 学会

日本中国学会

中国社会文化学会、理事